

三保松原の何を守ればいいのか

名勝三保松原の本質的価値を構成する要素、維持・継承に関わる要素

名勝の継承に必要不可欠なもの

- ①三保松原の礎となる砂嘴
- ②松原
- ③砂浜
- ④富士山の眺望
- ⑤羽衣伝説につながる御穂神社、神の道、羽衣の松

構成する要素以外で積極的に維持するもの

- ①ガイダンス施設
- ②松原顕彰に係る石碑
- ③海岸保全のための突堤
- ④清水三保海浜公園
- ⑤松原保全に係る圃場

現状はどうなっているのか、何に取り組むべきか

・本質的価値を構成する要素ごとの現状と課題



①三保松原の礎となる砂嘴



②松原



③砂浜

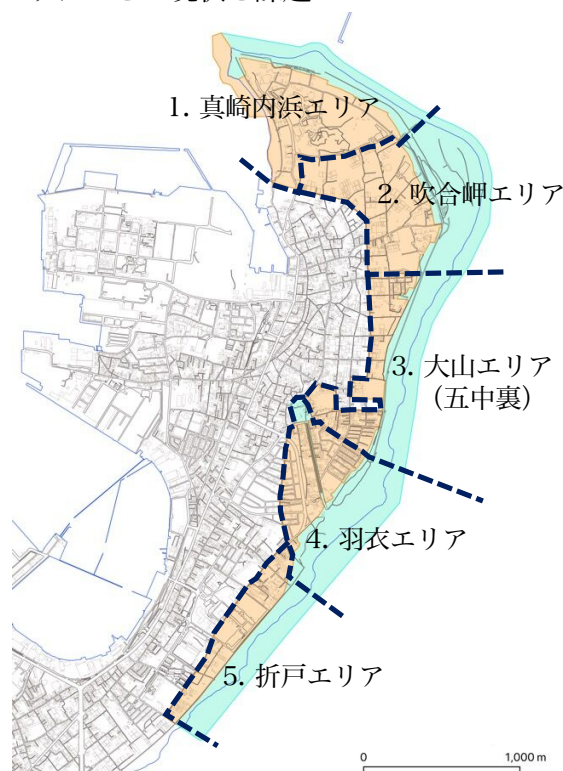


④富士山の眺望



⑤羽衣伝説につながる御穂神社、神の道、羽衣の松

・エリアごとの現状と課題



これからの10年のテーマ

～羽衣の松だけが三保松原じゃない！～半島全体で名勝の魅力を磨く

- ・羽衣の松周辺だけでなく名勝三保松原全域において、様々な関係者が連携し、新たな価値を見出すことで、多くの人々が集うようになる。
- ・それにより、美しく機能的な三保松原の、持続可能な保全のための適切な活用を展開する。

名勝の魅力を磨くために心にとめておきたいこと

- ①松原は 人がいないと 生きられない
- ②砂浜は 工事中でも 自分事
- ③名勝は 観賞できぬと 意味がない
- ④名勝を 守って活かして ハッピーに
- ⑤柔軟に 多様な主体を 迎え入れ 変わらぬ価値を 厳守する

具体的な取り組み

保全

- ①松原の保全
- ②砂浜の保全
- ③富士山眺望ポイントの拡充と整備
- ④名勝地内の景観保全

活用

- ①価値の周知と啓発
- ②誘客
- ③体験・利用

整備

- ①保全のための整備
- ②活用のための整備

運営・体制の整備

- ①関係者の協働による運営
- ②持続可能な運営

現状変更の取り扱い基準についても保全の中で示します。